

# 神のみ前に立って—十戒の心— 大住雄一 (東京神学大学前学長) (2007年4月～9月放送)

01. ナアマンの話
02. お言葉ですから
03. 神のみ前に出るために
04. 神のみ前で、わたしは何者なのでしょう
05. 『わたしは主』主の名
06. 『わたしは主』  
主が名のられるとき、そこに主御自らがいます
07. 『わたしは主、おまえの神』  
『おまえの神』になってくださった主
08. 『エジプトの地、奴隷の家からおまえを導きだした』  
わたしが今このわたしであるために
09. 『他に神があってはならない、わたしをさしおいて』  
主だけを見つめて
10. 『彫像を作ってはならない』  
何を造ってはいけないのか 御利益宗教との違い
11. 『あらゆるかたちを』神の形、神の像
12. 『嫉みの神』わたしは主のもの
13. 『罪の連座と千代にわたる恵み』家族の救いのために
14. 『主の名を空しいことのために称えてはならない』  
主を我が物にする罪
15. 『シャッパート』  
シャッパートとは何か 聖なる場所と聖なる時
16. 『シャッパート』解放の追体験と天地創造のリズムの回復
17. 『シャッパート』家族で守る聖日
18. 『父母を敬え』  
親孝行ではなく、親が神のみ言葉を子に伝えるがゆえに
19. 『シャッパートを守ることと父母を敬うこと』  
信仰共同体の時間軸
20. 『殺すな』命はだれのものか
21. 『姦淫するな』神のみ前で恥じることのない関係
22. 『盗むな』不満はどこから来るか
23. 『偽証するな』裁判を正しく行うことは隣人を愛すること
24. 『むさぼるな』姦淫や盗みとの違い
25. 『むさぼるな』隣人と平和であるために
26. まとめ(1)神を愛することと隣人を愛すること
27. まとめ(2)なぜ「戒め」なのか